

プログラム制御
音波ふるい器

SW-20AT形

SOUND WAVE SIFTER

気柱振動法 (特許 884741号)

(実用新案 第1583250)



本器は、ふるい枠を機械的に動かすことなく、ふるい内部の空気を振動させ試料を網面より強制的に通過させる全く新しい方式のふるい分け器です。

乾式で唯一5 μm までの多段分級ができ、新開発のマイコン・プログラム制御による音波発信器が試料の特性、粒度、ふるい段数等の使用条件により、出力、周波数、時間の制御を行い効率よく、迅速で正確な分級を行なうことができます。

プログラムは一度設定しますと電源を切っても記憶されておりますので、人によるデーターの誤差がありません。又通常のマニュアル運転も行なうこともできます。

発信器パネル部は大きく見やすいLEDデジタル表示と操作、機能に優れたシートキー方式を採用し、又ケースは内部を密閉することにより塵、微粉等が侵入することがありません。

特 長

1. 従来のふるい振とう機では分級できなかった微粉体を短時間に簡単にふるい分けできます。
2. 静電気の発生が少なく、高分子粉体でも使用できます。
3. 音波発生器は出力、周波数、時間が制御できますので、サンプルの特性、ふるいの段数、湿式による使用など、使用条件によりプログラムできます。
4. 受皿は底面にゴムの共振板を取り付けてありますので、ふるいを数段重ねても効率よく使用できます。
5. ふるい枠は動くことがないため、枠や網面を損傷することがありません。
6. 受器にふるいを重ね、その上に音波発生器をのせるだけですので、簡単にセット、又取りはずすことができます。
7. 乾式で微粉体の分級ができるのでテスト用サンプルを作ることができます。
8. オイルなどを使用していないため、床面が汚れることなく、又軽量コンパクトですので実験台の上で使用できます。
9. 湿気、凝集性があり、網面に付着するようなサンプルでも、タッピングボールを投入して行うことにより網面を刺激し目詰り、付着をとり分級を促進することができます。
10. ニューテストイングシーブの視窓付ふるい枠を使用しますと、中を観察しながら出力、周波数、時間を選択でき、プログラム設定の時便利です。

仕 様

形 式	SW-20AT形
電 源	100V 60VA
ふるい	試験篩 200mmφ×60mm, 200mmφ×45mm (御指示により付属) ニューテストイングシーブ 200mmφ×45mm (御指示により付属) 段数は粒度等により1段～6段まで使用できます。サンプル量は粒度、比重等により約5ml～50ml
音波発生器	マイコン・プログラム制御 5ステップ (出力、周波数、時間を1ステップ) 出 力：1～30W LED 10段回レベル表示 周 波 数：50Hz～300Hz LED デジタル表示 時 間：1～15分 (1ステップ) LED デジタル表示 プログラム：シートキー式ダイレクト設定 W260mm×D315mm×H145mm 6kg
音波発生器	ふるい枠 200mmφ用 240mmφ×H140mm 6kg
受 器	プラスチック製特殊受器 金属製特殊受器 (御指示による)
ゴム付台, セラミックボール	2mmφ, 3mmφ 各50g付

- ◎ 試験篩、ニューテストイングシーブでの目開き、その他仕様は別紙カタログを参照ください。
- ◎ 今御使用中の音波ふるい器SW-20形の発信器だけをプログラム制御発信器に換えることによりSW-20AT形として使用できます。

